

スピーチを聞いて感想を述べる
〈環境問題〉

組 番 氏名

松本さんは、国語の時間に環境問題についてのスピーチをしました。次の資料は松本さんのスピーチ原稿と資料です。これらを読んで、後の問いに答えなさい。

「一人一人が小さなことからこつこつと。」
私は、この考え方を一人一人がもつことが環境問題の解決につながると考えています。環境問題には地球温暖化や砂漠化など色々なものがありますが、今日は私たちに一番身近なごみ問題についてスピーチをします。皆さん、私たちは一日どのくらいのごみを出していると思いますか。

県民一人一日あたりのごみの量は約九百八十グラムです。この写真を見てください。私たちがよく出す新聞紙やプリントなどの紙ごみでこのくらいの量になります。

宮崎県全体では、約千二百六十トン。これは福岡のドーム球場の約一・二倍にもなるそうです。

ごみを減らすということは環境を守る上で大きな課題であり、国や県でも様々な取組がなされています。

皆さんは「4R（よんあーる）」という言葉を知っていますか。この図を見てください。

4Rとは「リフューズ」「リデュース」「リユース」「リサイクル」の頭文字をとったもので、ごみを減らすための考え方を示しています。

宮崎県では、環境を守る取組として、この「4R」を推進しています。

例えば、「リフューズ」。これは「ごみにならないものは買わない、断る」ということです。が、買い物に行く時にマイバッグを利用すれば、レジ袋を使わなくて済みますよね。

学級の全員が一回、マイバッグを使えば、全部で三十四枚の買い物の節約になります。全校生徒なら二百九十五枚。宮崎県の全ての中学生がマイバックを使えば・・・

たった一枚の買い物袋ですが、みんなで取り組めば、大きな節約につながると思いませんか？

まさに「ちりも積もれば山となる」です。その他にも「使い捨てのスプーンやストローなどをもらわない」、「過剰な包装をしない」など、できることはいくつもあると思います。

皆さん、ごみを減らすために、自分にできることはないか、日常生活を振り返ってみてください。自分自身も、明日の環境を守ることを信じて。

資料



写真



980グラムのごみ

キーワードは「4R」

Refuse
(リフューズ)
ごみになるものを断る

Reduce
(リデュース)
ごみを減らす

Recycle
(リサイクル)
再生利用する

Reuse
(リユース)
繰り返し使う

出典：「ごみ減量テキスト」（環境学習ナビHPより）

(一) 松本さんがみんなに主張したかったことはどんなことですか。一文にまとめて書きなさい。

一人一人が自分にできる小さなことに取り組むことが環境問題の解決には大切である。

〈解答のポイント〉

(二) 次のア～エは松本さんでないものの一つを選び、
松本さんのスピーチは、最初に自分の考えを述べ、それを具体的に述べて、最後にもう一度主張をおさえるという構成になっています。スピーチを聞く時には、話し手の主張がどこにあるかを考えながら聞くことが大切です。

ア 写真を活用し、聞き手に具体的なイメージをもたせている。

イ 自分と異なる考えを予想し、それに対する意見を述べている。

ウ 最初に自分の考えを述べ、具体的に説明している。

エ 問いかけをすることにより、聞き手の関心を引きつけている。

イ

〈解答のポイント〉

松本さんのスピーチの工夫として次のようなものがあげられます。

- ・写真や図の提示
- ・具体的な数値の提示
- ・問いかけの多用
- ・主張の述べ方

これらの工夫を入れることでどのような効果があったのかを入れて書くといいですね。

さらに「自分にできる小さなことに一人一人が取り組むこと」という松本さんの主張に対する自分の考えを入れましょう。

解答はあくまでも例です。条件に沿った解答であれば正解です。

松本の全員が一人三十秒程度
感想を述べますか。次の条
目を書くこと。
この考えを入れて書くこ

こ	自	私	と	に	た	考	聞	を	的	松
う	分	も	が	で	、	に	き	も	な	本
と	に	「	大	き	松	し	手	た	数	さ
思	で	マ	切	る	本	た	を	せ	値	ん
い	き	イ	だ	小	さ	い	引	た	や	の
ま	る	水	「	さ	ん	工	き	り	写	ス
し	こ	筒	と	な	の	夫	つ	、	真	ピ
た	と	を	い	こ	「	が	け	間	を	ー
。	に	持	う	と	一	あ	た	い	示	チ
	取	ち	意	に	人	り	り	か	し	に
	り	歩	見	取	一	ま	す	け	て	は
	組	く	を	り	人	し	る	を	イ	、
	ん	「	聞	組	が	た	な	入	メ	具
	で	な	い	む	自	。	ど	れ	ー	体
	い	ど	て	こ	分	ま	参	て	ジ	